

図書館の職員さんに聞いてみよう!
本のはなし

話題の
新刊本!



死者との対話
著: 石原 慎太郎
出版: 文藝春秋

インパール作戦で多数の戦友を失った男が戦後にとった行動とは? 死に直面する作家が自在なリズムで自己と対話する。末期患者と看護人の間に芽生えた奇妙な友情…。死と直面する自らをも捉える短編集。7編を収録。(大宇陀図書館所蔵)



なぜなぜ? かいけつルーペくん ~おうちのふしぎをさがせ!~
著: うえたに 夫婦
監修: 左巻 健男
出版: ハピインターナショナル

のりはどうして紙と紙をくっつけられるの? 冷蔵庫はどうやってものを冷やしているの? 家の中のフシギについて、Q&A形式で、イラストを使って詳しく説明しています。ジャケットに穴あり。(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの
まめ知識

Vol.78
「かるがも応援団」が子育てを応援...

初めての出産・育児で喜びいっぱいのパパとママ!
でも、不安なことも・・・
離乳食はいつから始めればいいのか? 熱がでたらどうすればいいのか? どんな絵本を読んであげればいいのか? 等々、知りたい情報もいっぱいですね。中央図書館では、現在「かるがも応援団」と題して妊娠・出産～乳幼児の子育てに役立つ本を集めたコーナーを開設しています。また、大宇陀図書館においても、子育てを応援する本が充実しています。子育てに関わる皆さんの強い味方として、子どもたちがすくすくと成長されることを心より願っております。

図書館からのお知らせはP24

宇陀松山会館に看板を設置

宇陀松山会館の指定管理を行っている宇陀松山まちづくり協議会が、以前から使用している看板を再利用し宇陀松山会館の看板を作成いたしました。

当館は旧松山町役場を改修し、今年3月1日よりリニューアルオープンした施設です。新型コロナウイルス感染症の影響で長らく閉館しておりましたが、5月22日より開館しました。



施設内には宇陀松山の歴史資料を展示し無料で観覧できます。さらに、会議室や展示室の貸館も行っておりますので、ご希望の方は宇陀松山会館までご連絡ください。



宇陀松山会館の利用について

- 【開館日】 毎週月・金・土・日 (祝日は開館。ただし、直後の開館日を休館)
- 【開館時間】 午前10時から午後4時まで
- 【料金】 観覧 無料
貸館 有料 (金額は問へお問い合わせください)
- 【住所】 大宇陀拾生 1873 番地
- 問 宇陀松山会館 (☎ 88・9253)
商工業課 (☎ 82・5874 / IP ☎ 88・9075)



▲宇陀松山まち協の皆さんと、看板の題字を書いていたなど、作成にご協力いただいた山本綾香氏(写真右端)

人権擁護委員 酒井さん表彰

7月1日

人権擁護委員の酒井靖志さん(室生大野)が、長年にわたり人権擁護委員としてご活動され、その活動をたたえ、全国人権擁護委員連合会長から表彰されました。

酒井さんは、平成23年10月1日に法務大臣から委嘱後、国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献されています。

宇陀市における人権擁護委員のなかで、長年中核的役割を果たすとともに、現在は子ども委員として、幼稚園やこども園などでの人権出前教室等でも活動いただいております。今後ますますのご活躍をお願いします!



第9回宇陀市長旗争奪学童野球大会 開催

7月19日～8月2日

室生運動場において、「第9回宇陀市長旗争奪学童野球大会」を開催しました。本大会は、市内少年野球チームが6チーム参加し、総当たり戦を行いました。

当日は新型コロナウイルス感染症対策を徹底するなかで、選手たちは安全面に十分に注意しながら、正々堂々と戦っていました。この激戦のなか、内牧ファイターズが見事優勝し、榛原アタッカーズが準優勝、榛原ジャガーズが3位という結果となりました。

優勝した内牧ファイターズは、今後開催予定の「ろうきん杯奈良県大会」に宇陀支部代表として出場し、準優勝の榛原アタッカーズと第3位の榛原ジャガーズは、



「ほっかほっか亭奈良県大会」に宇陀支部代表として出場します。

▼優勝した内牧ファイターズ



消防団入退団式を開催

7月19日

大宇陀ふれあい交流ドームにおいて「宇陀市消防団入退団式」を開催しました。

今年の新入団員は23人。式典では、畠中繁忠さん(大宇陀第2分団)が代表として、「良心に従い、忠実に消防の義務を遂行する」と力強く宣誓。また退団者を代表して元副団長の富田英一さんが謝辞を述べられました。

退団された皆さんは、災害現場での活動をはじめ、訓練や防火啓発、年末夜警など地域を守る取り組みとして、長年に渡り消防団活動に従事していただきました。今後は、消防団で培われた情熱を絶やすことなくますますのご活躍を期待しています。



▲新入団員の皆さん



▲退団者代表で謝辞を述べる富田元副団長